

## 第1回 清瀬市長期総合計画策定審議会（案）

## 1 開催日時

令和6年12月18日（水）18時00分から20時00分まで

## 2 場所

清瀬市役所3階 庁議室

## 3 会議内容

## (1) 開会

## (2) 市長挨拶

本日は委員の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。清瀬市長期総合計画は、計画期間10年で策定しており、現行の第4次長期総合計画は令和7年度末までのものである。したがって、皆様には、令和8年度から始まる第5次長期総合計画策定のためにご審議いただきたいと存じる。第4次長期総合計画が策定された当時の時代背景とこれからの時代背景は、コロナの蔓延、社会情勢、国際情勢、地政学的なこと等、様々な分野において全く異なると認識している。そのような中、今後清瀬市を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続く。中でも人口減少の問題があるが、人口が減少するということは税収が減収するということである。これまでの右肩上がりの行政運営からスモールダウンしていくことになるので、それに応じた長期総合計画の策定をしていかなければならないと考えている。本審議会では皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、市民の皆様とともに第5次長期総合計画を策定していきたいと存じる。様々なご意見がある中で、今後、長期的な行財政運営をどのような形にしていくかということをご審議いただきたい。これからの新しい未来の創造に向けて、皆様からご意見をいただくことをお願いして、私からのご挨拶とさせていただきます。

## (3) 諮問状の交付

各委員に諮問状を交付した。

## (4) 審議会の公開について

本審議会の公開について、事務局から説明を行い、委員の総意により、本審議会は「公開」となることと決定した。「公開」と決定したことで、①市ホームページに委員名簿及び議事要旨（発言者名を明かさない形で作成）を掲載すること、②本審議会の傍聴を認めることとなった。

## (5) 自己紹介

各委員及び事務局の職員が自己紹介を行った。

(6) 審議会の設置について

事務局から、審議会の設置について、資料2をもとに説明を行った。

(7) 会長・副会長選任

推薦により、和田委員が会長に決まった。

また、会長となった和田委員の推薦により、有村委員が副会長に決まった。

(8) 長期総合計画の策定について

ア 事務局から、長期総合計画の策定について、資料4～9をもとに説明を行った。

イ 以下(ア)～(ク)のとおり、各委員から意見や質問を受け、事務局が回答した。

(ア) 資料7では、人口減少とレジリエンス、DX、脱炭素化にポイントを当てたご説明で、もう一つ資料8ではWell-Beingだった。今後、審議会で、これらの観点を意識して計画づくりをしていくということなのか、あるいは、これらの観点以外で清瀬に必要だと思う観点があれば、それも意識すべきなのか教えてほしい。

⇒【事務局回答】ご提示した資料にある観点到縛られないでお考えいただきたい。資料7に関しては、あくまで清瀬市を取り巻く外的要因の一部の紹介であるので、それ以外の観点におけるご意見もいただきたく思っている。

(イ) 世論調査は3年に1度実施されているということだが、前回と今回の調査を比較し、大きな変化等について分析したうえで、今後の10年の方策を考えたいので、次回以降資料を提示してほしい。

⇒【事務局回答】承知。審議に必要な資料があれば、可能な限りご用意する。

(ウ) 資料5のスライド2枚目について、「基本構想10年、基本計画5年、実行計画3年」とあるが、「基本構想10年、基本計画前期5年、基本計画後期5年」ということなのか、「基本計画は5年で修正」ということなのか、どちらなのか教えてほしい。

⇒【事務局回答】基本計画は10年で、5年経過したときに見直すことができるという形にしたい。

(エ) 資料5のスライド3枚目について、「基本構想、基本計画、実行計画」のうち、来年の12月議会で議決の対象となるのはどれか。

⇒【事務局回答】次期長総では、「基本構想」だけが議決の対象となる。「基本計画」は議決が必要ないということで、社会情勢に応じて修正していけるような形にしたい。

(オ) 清瀬が目指す将来像について、どの資料を見て考えていけばいいかわからない。例えば、世論調査の満足度調査を見ると、清瀬市に高齢者の方が多い場合は、健康に関する施策に注力すれば満足度は上がると思う。一方で子育て世代の方が多い場合は、学校や保育園、幼稚園に関する施策に注力すれば満足度は上がると思う。どの資料を参考にして、どの立場から考えていけば良いのか教えてほしい。

⇒【事務局回答】資料については、今後会議によって、議論の内容に応じた資料を提供していきたいと考えている。満足度の件については、人口減少に伴い税収が減っていくという背景がある中で、ある分野における市民からの要望を一つひとつ叶えて、ある分野の満足度を上げることが、清瀬市の発展に繋がるとは限らないと考えている。委員の皆様各々の立場からご意見をいただき、それを集約したいと考えている。

(カ) この審議会とは別に庁内策定委員会を開催されていると思うが、資料7や8について、策定員会の委員はどのように判断されているかということを知りたい。

⇒【事務局回答】資料7や8については、内部でも分析しているので、結果を次回以降報告したい。

(キ) 資料はトーマツが作成していると思うが、トーマツと市役所の関係性やどの程度関わっているかを教えてほしい。また、「Well-Being」の資料は「デジタル庁一般社団法人 SCI Japan」が関わっていると思うが、表示されている数値は何をもとにしているのかがわからないので、詳細を教えてほしい。

⇒【事務局回答】資料については、市役所とトーマツとで協働で作成している。Well-Being の資料にある数値についても改めて詳細をお示しできればと思う。

(ク) 世論調査は18歳以上が対象ということで、18歳未満の子どもたちの意見をどう反映させるのかが懸念点である。大人だけの意見にならないように、他の会議で使われた子どもの意見も反映出来たら良いと思う。

⇒国の方で近年子ども家庭庁の創設、こども基本法の施行があった中で、当然子どもに対する施策も考えるべきだと考えている。

## (9) その他

### ア 次回日程及び開始時間について

事務局から、次回の会議の日程が決まり次第、後日ご連絡する旨を説明した。

### イ 口座登録用紙について

事務局から、口座登録用紙について説明を行い、閉会となった。